

# 第1回関東HLA研究会開催の御案内と演題募集

当番世話人 国立病院機構水戸医療センター  
臓器移植外科 湯沢賢治

このたび、関東地方の日本組織適合性学会のメンバーが中心となり、別紙の設立趣旨のもと「関東 HLA 研究会」を立ち上げました。これは、趣旨に記したとおり、HLA 分野の将来をになう若い研究者や臨床に関わる医療関係者の育成とともに、HLA 学の啓蒙に地域レベルで努めるためです。

この研究会としての「第1回関東 HLA 研究会」の当番世話人を拝命しました水戸医療センター臓器移植外科の湯沢賢治です。私は2015年9月に第24回日本組織適合性学会大会を水戸で開催いたしましたが、その際、もう少し若手で次世代を担う方々が気軽に参加できる地方会のような組織があると良いのではないかとの思いがあり、今回の第1回を担当させていただくことになりました。

昨年9月以来、3回の世話人会での検討を踏まえ、別紙の通りプログラムを企画しました。本研究会への参加登録の御案内とともに、下記の通り一般演題を募集します。

ふるっての御参加、演題発表をお願いいたします。

## 記

日 時 2017年5月13日(土曜日)  
午後1時00分～午後6時00分

会 場 東京大学 本郷キャンパス 医学部1号館  
東京都文京区本郷7-3-1

年 会 費 正会員 2,000 円 学生会員 1,000 円 世話人 3,000 円  
当日の年会費納入で研究会への参加が可能です。

参加登録 メールでの登録となります。  
下記アドレスに要件と共にメールで送信してください。  
アドレス [ishoku@mn.hosp.go.jp](mailto:ishoku@mn.hosp.go.jp) (水戸医療センター移植医療研究室)  
件名 関東 HLA 研究会参加登録  
本文 氏名、所属、住所、職種(医師、研究者、検査技師、学生、その他)、  
電話、メールアドレス

演題応募 参加登録締切:5月8日(土)  
メールでの登録となります。  
下記アドレスへ、抄録 Word ファイルを添付し、要件と共にメールで送信してください。  
アドレス [ishoku@mn.hosp.go.jp](mailto:ishoku@mn.hosp.go.jp) (水戸医療センター移植医療研究室)  
件名 関東 HLA 研究会演題応募録  
本文 氏名、所属、住所、電話、メールアドレス  
添付 演題名、演者、所属を最初に記し、本文400字の抄録の Word ファイル  
演題応募締切:4月14日(金) 採否は4月21日(金)までにメールにて通知いたします。

事務局 国立病院機構水戸医療センター 移植医療研究室 (秘書:伊藤)  
電話: 029-240-7000(6740) e-mail: [ishoku@mn.hosp.go.jp](mailto:ishoku@mn.hosp.go.jp)

以上

# 関東HLA研究会 設立趣旨

最近のHLA学の研究・臨床における進展は様々な分野で裾野の広がりをみせ、医療への予防、診断、治療における個別医療・適確医療への適用の必要性がますます増えています。

基礎的にはHLAと疾患の関連と分子機構の解明、HLAの免疫以外の神経・脳における新機能の解析、エクソン以外に遺伝子多型の機能解析や遺伝子間のintergenic領域の多型の機能的意義の解明など、HLA蛋白・HLAゲノム領域の重要性がますます認識されつつあることに加え、臨床の現場においてもHLAの移植における適合性、HLAを標的にした薬剤開発、がん免疫ワクチンなどの癌免疫療法におけるHLAの役割、臨床研究におけるコンパニオン診断薬としてのHLAタイピングの重要性、iPS細胞など再生治療におけるHLA適合の重要性、薬剤副作用における個別医療、HLAと相関する疾患の診断と予防医学など、医療へのHLA学の貢献などが大いに期待されています。

一方、日本組織適合性学会では、残念ながら次の時代を担う若手が十分に育っていないことが憂慮されている現状です。

このような状況下でHLA分野の将来をにやう若い研究者や臨床に関わる医療関係者の育成とともに、HLA学の啓蒙に地域レベルで努めることは、大いに意義あることと考えられ、このたび、関東HLA研究会を立ち上げることとなりました。

2017年 春

代表世話人：猪子 英俊

世話人：石田 英樹、 石塚 敏、 猪子 英俊、 江川 裕人、 杉本 達哉、  
椎名 隆、 徳永 勝士、 中島 文明、 藤原 孝記、 宮寺 浩子、  
蒔田 泰誠、 湯沢 賢治

監 査：江川 祐人、 徳永 勝士

事務局：椎名 隆

## 第1回 関東HLA研究会 プログラム

- 日 時 2017年5月13日(土曜日)  
午後1時00分～午後6時00分
- 会 場 東京大学 本郷キャンパス 医学部1号館
- 年 会 費 正会員 2,000 円 学生会員 1,000 円 世話人 3,000 円  
当日、会費を支払っていただければ、研究会への参加を可能とする。
- プログラム
- 開会の挨拶・関東 HLA 研究会の立ち上げについて 湯沢賢治 水戸医療センター
  - HLA の基礎講習
    - HLA の成り立ち 湯沢賢治 水戸医療センター
    - 表記法 JSHI 表記法(ambiguity と基本的な表記法について)  
藤原孝記 帝京大学
    - QCWSと認定制度 中島文明 日本赤十字
  - シンポジウム1: HLAと臨床
    - 臓器移植とHLA  
抗体関連型拒絶 江川裕人 東京女子医科大学
    - 造血幹細胞移植とHLA  
HLA適合度の移植成績 高橋 聡 東大医科学研究所
  - 一般演題  
4～5題
  - シンポジウム2: NGSによるHLA/KIRタイピングの現状と展望
    - Long-range と Short-range PCR 法の特徴 椎名 隆 東海大学
    - 各 NGS プラットホームの性状 椎名 隆 東海大学
    - キャプチャー法の特徴 細道一善 金沢大学
    - KIR タイピング 細道一善 金沢大学